

3月19日[月]▶5月まで

社会実験
実施！

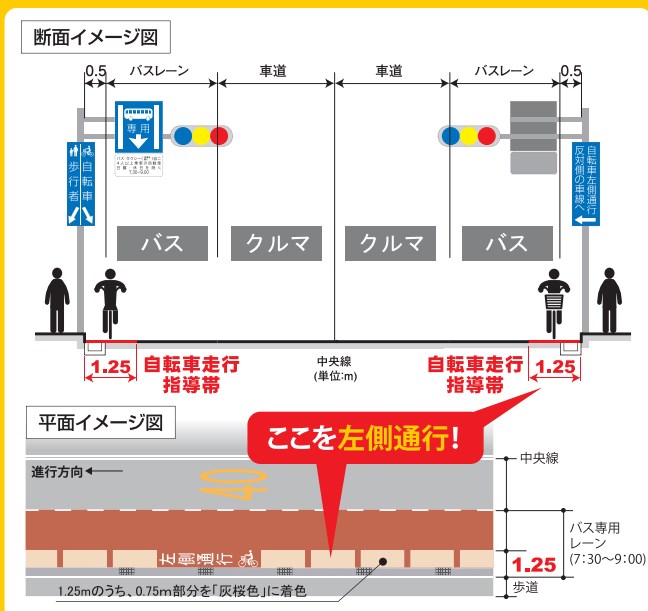


自転車はココ 『端RUN』け♪

「自転車走行指導帯」を走りましょう！



「バスレーン左端」を左側通行しましょう！



7:30～9:00
(バス専用レーンの時間帯)

国道159号

浅野川大橋

東山

山の上



現状

狭い歩道上では
自転車と歩行者の接触事故が発生！



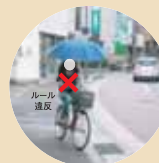
歩道通行や
逆走する自転車



歩道上で自転車
を怖がる小学生



歩道と車道を無秩序
に走る自転車



傘をさしながら歩道を
逆走する自転車

これが
必要

歩行者と自転車の分離

自転車走行位置の明確化

目的

交通ルールを徹底し、みんなが安全で
安心して通行できる道路空間を目指す

お互いにルールを守ること
でみんなが安全・安心に♪



歩行者



自転車



バス



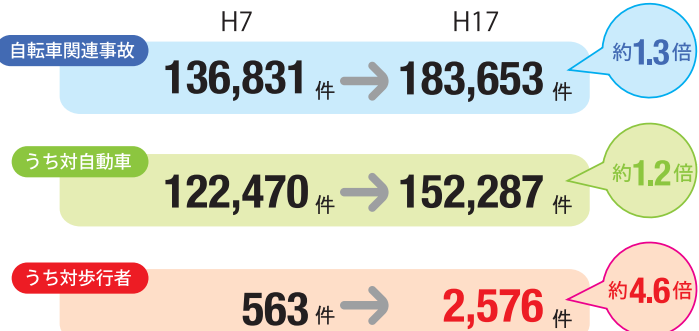
クルマ

安全・安心に走行するために、
①自転車は「指導帯」を左側通行
②クルマは「バスレーン」を守る
③バスは「ゆずりあい」
を心がけましょう！



歩行者vs自転車の事故が急増！

- ◆平成7～17年の間に、自転車関連の事故は全体で約**1.3倍**に増加
- ◆そのうち、対自動車の事故は約**1.2倍**、**対歩行者の事故は約4.6倍**に増加



※対歩行者の事故件数は、警察に届け出のあったものだけであり、
実態はもっと多くの事故が発生しているものと考えられます。
(資料：警察庁ホームページ)

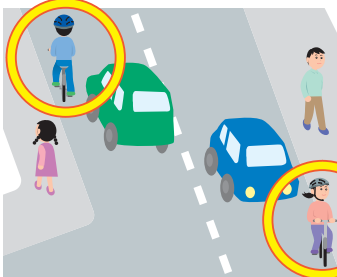
「自転車走行指導帯」のメリット

- ◆自転車が「自転車走行指導帯」を左側通行することで、これまで以上に安全性が向上します

今までは…	これからは…
歩行者 ●小学生や高齢者などの歩行者が安心して歩道を歩けない	●安心して歩道を歩くことができるようになる
自転車 ●歩道と車道を無秩序に走行 ●自転車の走行位置が不明確 ●クルマとの出会い頭の衝突や歩行者との歩道上での事故の危険あり	●自転車の走行位置が明確になり、自転車は今まで以上に走りやすくなる ●クルマとの出会い頭の衝突や歩道上での歩行者との事故防止につながる
クルマ ●自転車がどこを走るかわからず怖い ●「自転車は軽車両」という意識があまりない	●自転車の右側逆走や並進が改善され、走りやすくなる ●自転車との「ゆずりあい」の気持ちが高まり、交通安全につながる

ルールやマナーを守ることで、あなた自身が安全に！

狭い歩道では、
「車道左端を左側通行」
しましょう。



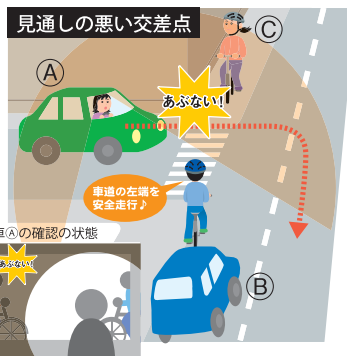
広い歩道 (2m以上) で
ある歩道は、
「自転車も歩道通行可」
(ただし、歩行者優先です)



Q. どうして「左側通行」なの？

A. 出会い頭事故の8割が右側通行で発生しています！

下図のクルマAは右折しようとする場合、クルマBが向かってる方向だけに注意しがちです。ここで、クルマAは右側通行する自転車Cさんを確認できず、出会い頭で衝突する危険性があります。



並進はやめよう



※クルマの通行を妨げるとともに、クルマとの事故の危険性が高くなります。

傘さし運転はやめよう



※傘さし運転は、前が見づらくなり歩行者やクルマと衝突する危険性が高くなります。

無灯火はやめよう



※夜間は、ライトを点灯し、自分の位置をまわりに知らせると、安全性が向上します。

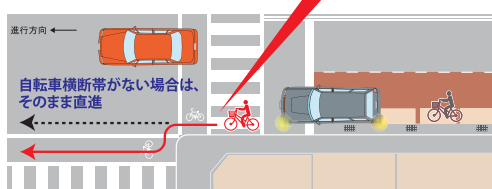
携帯電話はやめよう



※携帯電話で通話やメールをしなげらな運転は、注意力が不足し、大事故につながります。

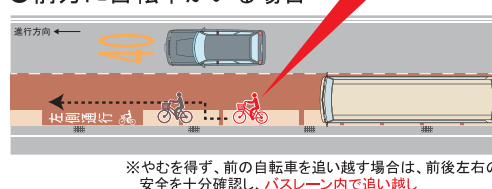
こんな時はどうすれば？

●交差点をわたる場合



自転車横断帯がある場合は「自転車横断帯」を走行

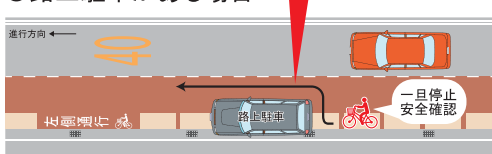
●前方に自転車がいる場合



自転車は指導帯を列で走行

※やむを得ず、前の自転車を追い越す場合は、前後左右の安全を十分確認し、バスレーン内で追い越し

●路上駐車がある場合



前後左右の安全を十分確認しバスレーン内を迂回

一旦停止安全確認

※大型車が駐車してバスレーン内での迂回ができない場合は、自転車から降りて歩道を迂回するなどの安全な方法で通行

●バスが停車している場合



一時停止してバスの発車まで待機

バスの右側を追い越すのは非常に危険です！

バスが動くまで待とう

Q. 自転車が車道を走ると危険では？

Q. バスやクルマにとって邪魔になるのでは？

自転車が、ルール通り車道の左端を左側通行することで、クルマやバスはこれまでよりも注意が必要になるのは確かです。しかし、現状として解決すべき課題は、最も弱者となる「歩行者の安全確保」です。自転車が自転車走行指導帯を走ることによって歩道は安全になりますが、同時に自転車、クルマ、バスの安全も確保されなければなりません。そのためには、各々のルールを守り、自転車はクルマの走行を妨げないよう逆走や並進をしない、クルマやバスは自転車にクラクションを鳴らしたり、無理な追い越しをしないなど、思いやりの心が必要です。

ゆずりあいと思いやりで、みんながハッピーな道路空間をつくりましょう！

社会実験の結果をもとに、より安全な交通環境づくりを考えていきます。

国道159号(浅野川大橋～東山～山の上)交通安全対策協議会

事務局:国土交通省金沢河川国道事務所交通対策課
〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号 電話(076)264-8800(代)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/r159anzenkyo/>

みんなで
安全運転！

